

〈執筆者一覧〉

第 11 章	広田幸紀
第 12 章	藤田安男
第 13 章	江口雅之、折田直哉、森川結子、岩橋立朗
第 14 章	Stace Nicholson（翻訳：広田幸紀、本田真理子）
第 15 章	窪田恵子（翻訳：広田幸紀、本田真理子）

〈執筆者紹介 ※は編者〉

広田幸紀（ひろた・こうき）※

国際協力機構（JICA）チーフエコノミスト、埼玉大学人文社会科学部研究科教授などを歴任。経済開発と国際協力に関する論文・報文等を発表。

藤田安男（ふじた・やすお）

元国際協力機構（JICA）研究所（現、緒方貞子平和開発研究所）副所長。JICA ではベトナム事務所長や審査部長などを歴任。開発途上国開発、インフラの経済的インパクトの分析に関する論文等を発表。

江口雅之（えぐち・まさゆき）

国際協力機構（JICA）企画部参事役、ペルー事務所長、評価部審議役、ブラジル事務所長などを歴任し、現在はアフリカ部専任参事。

折田直哉（おりた・なおや）

都市銀行においてサステナブルファイナンスの推進を担当。国際協力機構（JICA）在籍時は東南アジア・大洋州部、ペルー事務所、地球環境部等を歴任。

森川結子（もりかわ・ゆうこ）

国際協力機構（JICA）中東・欧州部中東第一課長。モロッコ事務所、ペルー事務所での円借款案件監理業務、審査部でのマクロ経済審査などを経験し、現在は北アフリカ向けの ODA 事業の企画立案に従事。

岩橋立朗（いわはし・たつろう）

国際協力機構（JICA）民間連携事業部海外投融资二課にて中南米地域向け融資の総括とアフリカ地域向け出資の総括を務める。2015～2018 年に JICA ペルー事務所に駐在し農業・電力・インフラセクターの事業開発をリード。欧州経営大学院 INSEAD にて経営学修士（MBA）を取得。

Stace Nicholson（ステイス・ニコルソン）

国際協力機構（JICA）米国事務所の国際経済・金融担当シニア・プログラム・オフィサー。世界銀行および国際通貨基金との幅広い協力関係（知識交換、共同融資イニシアティブ、分析およびイベントパートナーシップ、その他の共同プログラムなど）をサポートし、譲許的融資プロジェクトの信用リスク・デューデリジェンスに貢献。デンバー（Denver）大学ヨゼフ・コーベル（Josef Korbel）国際大学院でグローバル金融・貿易・経済統合の修士号を、マンチェスター・カレッジ（Manchester College）で政治学の学士号を取得。

窪田恵子（くぼた・けいこ）

世界銀行で中央アフリカ担当オペレーションズ・マネジャーやマダガスカル担当リード・エコノミスト、財務省国際局開発政策課課長補佐、国際協力機構（JICA）審査部信用力審査課エコノミック・アドバイザーなどを歴任、現在は東北学院大学経済学部教授。

本田真理子（ほんだ・まりこ）

民間企業を経て外務省や国際協力機構（JICA）で勤務した後、内閣府に入府。

〈編著者紹介〉

広田幸紀（ひろた・こうき）

東京大学経済学部経済学科卒業、経済学博士（埼玉大学）。海外経済協力基金ハノイ首席駐在員、国際協力銀行ジャカルタ首席駐在員、同開発第一部長、国際協力機構東南アジア・大洋州部長、同企画部長、同チーフエコノミスト、埼玉大学人文社会科学部研究科教授、JICA 緒方貞子平和開発研究所の客員研究員を歴任。主な著書に *Challenges in Fiscal and Monetary Policies in Mongolia* (co-edited, Springer, 2023)、*Addressing Social Infrastructure Needs in Asia : Towards a Pandemic Resilient Society* (co-edited, JICA, forthcoming) などがある。

質の高い成長概論 第二分冊 事例分析編

2025 年 8 月 20 日発行

編 著：広 田 幸 紀

発 行：国際協力機構（JICA）緒方貞子平和開発研究所

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5

URL：https://www.jica.go.jp/jica_ri/index.html

編集・印刷：高山印刷株式会社

ISBN 978-4-86357-115-0

本書に述べられている見解は著者個人の責任で発表するものであり、JICA や JICA 緒方研究所の見解を示すものではありません。